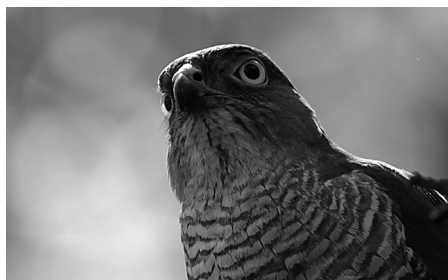


### 繁殖期調査 ツミ・オオタカ・エナガの繁殖を記録しよう

● ツミ：小型の鷹・ツミ〔写真〕が身近な場所で繁殖しています。団地の中の街路樹、児童公園の樹木、校庭の並木など、こんなところだと驚くような場合もよくあります。

発見の第一歩は、「ピョー・ピョー・ピョピョピョ」と尻下がり鳴く特徴のある声を聞き逃さないこと。声が頻繁に聞かれるようであれば、散歩のような感じで周辺を歩いて姿を確認。営巣しているようであれば、「さりげなく・通りすがりによすを見る」といった程度で観察を続けてください。ヒナが孵れば、近所の人も知るようになると思います。そんな時は、「日本で一番小さな鷹」・「雄と雌で大きさが違い、雄の方が小さい」・「むかしは巣が見つからなかった幻の鷹」など興味のある話をしてください。皆さんも大事に見守ってくださいます。



眼光鋭い・ツミの雌 ©T.Yoshida

繁殖が終わったら、「いつ・どこで・どうした」という情報を研究部あてお知らせください。

● オオタカ：山中の鳥と思っていたら、23区の緑地でも繁殖を始めた中型のタカ。容姿や飛ぶ姿がカッコイイためか、密猟が絶えません。しかし環境省は、ほぼ「関東地方でたくさん増えたから」という理由だけで、全国的に保護指定を解除しようとしています。関東地方でなぜ増えたのか、まずは繁殖のようすを調べているところです。営巣を見つけたら、これも、さりげなく観察し、ヒナが外から見えるようになった段階で、研究部あてに連絡先をお知らせください。担当者が連絡者と打ち合わせたくえて確認に出向きます。

● エナガ：多摩地区から発進したと思われるエナガの快進撃は、すでに、自然教育園・皇居ラインに達しています。コゲラのように下町まで進出するか興味あるところです。観察記録を研究部あてにお寄せ下さい。

● その他、ヤマガラ（23区内での繁殖）・ウグイス（都内平地部での繁殖）・ツバメ（駅およびその周辺での営巣）の調査を継続しています。その他の鳥についても繁殖記録をお寄せください。

**報告方法** 手紙：〒160-0022 新宿区新宿5-18-16 新宿伊藤ビル3階

Fax：03-5273-5142 E-mail：office@yacho-tokyo.org 研究部・繁殖記録係宛て

※ 手紙・Faxでの情報発信の際は、お名前・連絡電話番号をお忘れなく。

### ◎ ユリカモメ・オオバン・越冬期調査 ありがとうございました

今冬12月～2月にかけて実施した、「ユリカモメの減少」・「オオバンの増加」のようす、この冬の鳥たちの状況調査、ご協力ありがとうございました。

ユリカモメの減少は1990年後半からで、直接的には「生ごみの処分方法の変更」が第一の理由ですが、前号の巻頭言に紹介のあった京都・鴨川の場合は、そんな状況の変化はなかったようです。このように他の地域と比較すると、興味が増してきます。一方オオバンの方は、まだ分析するにはデータ不足といったところです。今回はスペースがありませんので、次号以降に、お寄せいただいた記録を紹介させていただきます。

調査に参加・協力いただいた方のご芳名を記して、お礼とさせていただきます。

**【調査者・協力者】** 岩崎正義、石田雅章、大澤邦男、岡村肇子、堅山総二、影山昇、川内桂子、川内博、小林博美、佐藤英夫、島田妙子、田久保晴孝、多田育子、谷口高司、豊田武人、長岡信也、西村眞一、橋本和司、古山敏雄、前田善明、松浦光子、三間久豊、安ヶ平奈緒美、山西肇・成子、吉邨隆資

〔敬称略・50音順〕